

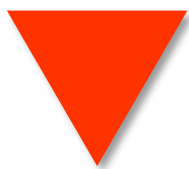
HOSHIGAOKA 2023



星ヶ丘校区 第一次

ふくしのまちづくり計画

つながれ つながれ
ふくしの心



2027

ごあいさつ

皆様には、ご清祥のこととお慶び申し上げます。

北九州市では、令和2年3月に初めて新型コロナの陽性者が確認されてから3年が経過しました。これまで幾度となく感染の波を繰り返してきましたが、本年の1月以降、減少傾向が続き、新型コロナとの共生・ウィズコロナの時代に入ったのではないのでしょうか。

新型コロナは、私達の活動「つながれ つながれ みんなの心」に大きな影響を与えてきました。感染防止対策とはマスク、手洗い、ソーシャルディスタンスの励行等、基本的に人と人との接触やふれあいを避けることです。しかし、福祉活動は人と人とのつながりや、住民相互の助け合いが欠かせませんが、新型コロナは私達が積み上げてきた成果を停滞、後退させたのではないのでしょうか。今こそウィズコロナの新たな取り組みが必要だと思えます。

今回の新たな取り組み「小地域福祉活動計画」は、星ヶ丘校区の様々な福祉課題を解決するために、自ら計画や目標をつくり、市や社協と課題を共有し、地域福祉活動を進める5ヶ年計画です。従来 of 活動とは大きく変わりませんが、実現可能な目標を設定し、計画的に一步一步前に進めることで、安全で安心できるまちづくりの実現につながればと思っています。

地域の皆様には、「小地域福祉活動計画」の取り組み「つながれ つながれ ふくしの心」にご協力を宜しくお願い申し上げます。

令和5(2023)年3月



星ヶ丘校区社会福祉協議会
会長 香月 耕治

も く じ

第1章 計画策定にあたって	1
1 計画の性格	
2 計画の期間	
3 計画の策定経過	
第2章 星ヶ丘校区の現状と課題	2
1 地域の特性	
2 地域の福祉課題	
第3章 計画体系	3
1 基本理念	
2 基本目標	
3 実施項目（体系図）	
4 重点実施項目	
第4章 計画の推進	7
1 地域への計画の承認と周知	
2 計画を推進するための体制	
3 第二次計画の策定	
参考資料	8
1 策定委員会委員名簿	
2 策定委員会での協議事項	

第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、星ヶ丘校区の様々な福祉課題を解決するために、既存の活動を活かしながら、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、星ヶ丘校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び市・区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市の「地域福祉計画」及び北九州市・区社会福祉協議会が中心となって策定した「地域福祉活動計画」と整合性を図りながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 星ヶ丘校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉活動の中核的な団体として多様な団体と連携を図りながら地域福祉を推進するために今後の活動方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有しています。

2 計画の期間

令和5(2023)年度～令和9(2027)年度までの5カ年とします。ただし、計画期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

星ヶ丘校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、既存の活動を活かしながら、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、星ヶ丘校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置し、星ヶ丘校区小地域福祉活動計画を策定しました。



第2章 星ヶ丘校区の現状と課題

1 地域の特性

	平成 14(2002)年 9 月 30 日	平成 24(2012)年 9 月 30 日	令和 4 年(2022)年 9 月 30 日
世帯数	2,530 世帯	2,852 世帯	2,800 世帯
人口	7,854 人	8,509 人	7,016 人
14歳以下	2,114 人(26.9%)	1,880 人(22.1%)	813 人(11.6%)
65歳以上	749 人(9.5%)	1,072 人(12.6%)	1,268 人(18.1%)
小学校・中学校	星ヶ丘小学校・木屋瀬中学校	地域包括支援センター	八幡西 6

星ヶ丘校区は八幡西区の最南端に位置し、直方市と隣接しています。大字笹田、大字野面、金剛地区、星ヶ丘団地から構成されています。都市高速や高速道路のインターが近く車があれば便利ですが、バス停や木屋瀬電停まで距離があるなど公共交通機関は不便と感じる方が増えてきました。

2 地域の福祉課題（及び小地域福祉活動の課題）

●新たな活動者を増やしたい

- ・星ヶ丘校区社協の活動者が高齢化してきており、活動する際はいつも同じメンバーが集まります。星ヶ丘校区では、高齢者や子どもなど、世代や対象を超えて地域住民同士が交流することのできる活動や行事を行っていますが、これらの活動を持続可能なものにするため、活動を知ってもらうとともに新たに活動者を増やしたいと思っています。

●地域行事や計画を共有したい

- ・星ヶ丘校区では様々な行事を行っていますが、活動者間で行事の目的や取組みが共有できていなかったり、一部の活動者に負担がかかっていたりという状況があります。まずは、活動者間で目的や取組みを共有することで、気持ちがひとつになり、活動しやすい状況をつくります。また、活動者だけではなく、地域住民にも星ヶ丘校区の活動を広く認識してもらうために、広報紙を利用して、分かりやすく周知したいです。



第3章 計画体系

星ヶ丘校区では、地域共生社会の実現に向けて、子どもから高齢者まで、障害のあるなしに関わらず、誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願い、基本理念と基本目標、取組みを定めました。

1 基本理念

「つながれ つながれ ふくしの心」

2 基本目標

(1) 交流を広げよう～地域の輪～

誰もが参加できるニュースポーツ大会やサロン活動、地域行事を通して横のつながりを広めていきます。また、星ヶ丘校区社協の活動に興味を持ってもらうために、誰にでも分かりやすく伝わる広報活動を行います。

(2) 安心して暮らせる街にしよう～地域のか～

子どもから高齢者、子育て世代、障害のある方など誰もが安心して暮らせるよう、まち協や各団体と連携しながら見守り活動を継続します。また、防災・防犯活動を行うことで、災害時に迅速な行動ができることを目指します。

(3) 多世代をつなごう～地域の絆～

市民センターなどを活用し、子どもから高齢者まで誰もが参加しやすい行事を開催して、少子高齢化や住民同士のつながりが希薄な中でも、多世代が交流できるような場を増やすことを目指します。



3 実施項目（体系図）

<p>「基本理念」</p> <p>つながれ つながれ ふくしの心</p>	<p>〔基本目標〕</p>	<p>〔5年間で実施する取組み〕</p>
	<p>交流を広げよう ～地域の輪～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・（重）福祉の心の醸成 ・（重）ニュースポーツなどを通じた交流と健康づくりの充実 ・星ヶ丘市民センターまつり ・三社詣りウォーク ・広報紙（まち協、自治区会、社協） ・広報紙を活かしたボランティアの募集 ・サロン活動 ・ふれあい昼食交流会 ・地域のボランティア団体との連携
	<p>安心して暮らせる 街にしよう ～地域の力～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい訪問活動 ・見守り活動 ・一斉防犯パトロール ・校区内巡回 ・防災・防犯活動
<p>多世代をつなごう ～地域の絆～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・元気ZZ ・三輪舎 ・子ども菜園事業 ・敬老会 ・七夕まつり ・環境ウォーク ・子どもたちからの年賀状 	

※（重）は重点的に行う活動です。



4 重点実施項目

今回定めた基本目標を達成するために、特に関係団体・機関と連携して重点的に進めていく事業を「重点実施項目」と定め、次のことを推進していくことにしました。

重点実施項目	福祉の心の醸成～自分達の組織を知り愛を伝える～							
1 課題背景及び現状								
<p>活動者間での行事の目的や取組みが共有できていなかったり、一部の活動者に負担がかかったりというような状況があります。</p> <p>また、連絡調整会議のメンバーが固定化されており、情報の収集が気軽にできないことがあります。</p>								
2 活動の方針・目標								
<p>活動者間で既存活動の再確認や、今後の活動に向けての勉強会を行います。また、福祉施設等の視察研修を行い、地域の福祉施設等と連携が取れることを目指します。学んだ成果を地域住民に発信します。</p>								
3 段階的な取組みの年次計画 R5 (2023) ～R9 (2027)								
取組み内容	連携する機関	R5	R6	R7	R8	R9	備考	
既存活動の再確認	民児協 食進 市民センター	→						
活動者向けの勉強会	民児協 食進 市民センター	→						
視察研修	福祉施設等 区社協	→	→	→	→	→		
連絡調整会議の充実	まち協 民児協 食進 市民センター 福祉施設等 交番			→				
広報活動の充実 (オープン講座等の周知)	まち協 民児協 市民センター 食進			→			分かりやすい 広報紙の作成	



重点実施項目	ニュースポーツなどを通じた交流と健康づくりの充実						
1 課題背景及び現状							
活動者が高齢となり、固定化されがちな状況があります。世代や対象を超えた交流活動や行事を行っていますが、持続可能なものにするため、活動の周知と新たな活動者を増やすことが求められています。							
2 活動の方針・目標							
地域活動に参加しやすくするためのきっかけとして、誰もが体験できるニュースポーツなど交流の場を継続的に設けます。また、運動を行うことで地域全体の健康づくりにつなげます。							
3 段階的な取組みの年次計画 R5 (2023) ~R9 (2027)							
取組み内容	連携する 機関	R5	R6	R7	R8	R9	備考
体験教室の開催	まち協 自治区会 市民センター 民児協 地域ボランティア						
広報活動	まち協 自治区会 市民センター						
ニュースポーツ大会	まち協 自治区会 市民センター 民児協 地域ボランティア						
ニュースポーツ大会後の交流会の実施	大会参加者 市民センター						
ニュースポーツ開放日の開設	自治区会 市民センター						
ニュースポーツ同好会の立ち上げ	大会参加者 市民センター						
長崎街道等ウォーキングの開催	まち協 市民センター						
グラウンドゴルフの開催	まち協 老人クラブ						



第4章 計画の推進

1 地域への計画の承認と周知

計画を推進していくために、既存の地域活動と連携を図りながら、以下の計画の広報活動を行います。

- ① 校区社会福祉協議会総会等を通じた活動者への計画の承認と周知
- ② 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
- ③ 計画書概要版の配布などを通じた校区住民への周知 等

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、星ヶ丘校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の進行管理等について、委員会で協議を進めていきます。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施

(2) 計画の進行管理

星ヶ丘校区小地域福祉活動計画推進委員会を年度に数回程度開催します。(当年度の事業推進の確認、年度内における中間確認、次年度の事業確認、また必要に応じて開催)

委員会では、各団体との連携を図りながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合にはその原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

(3) 計画の評価

計画期間の中間時点では計画全体の中見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画の策定期間には新しく計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。



参考資料 【星ヶ丘校区小地域福祉活動計画の策定経過】

1 星ヶ丘校区小地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

	氏名	所属団体	役職	備考
1	香月 耕治	星ヶ丘校区社会福祉協議会	会長	策定委員長
2	黒岩 文人	星ヶ丘校区まちづくり協議会 笹田自治区会	会長 会長	
3	野口 亀人	星ヶ丘校区まちづくり協議会 星ヶ丘校区青少年育成会	事務局長	
4	為田 真美	星ヶ丘校区まちづくり協議会 星ヶ丘校区青少年育成会	事務局	
5	戸田 早苗	星ヶ丘地区民生委員児童委員協議会	会長	
6	井川 伸二	木屋瀬東老人クラブ連合会	会長	
7	石口 美沙江	食生活改善推進員協議会	会長	
8	鬼ヶ原 浩二	星ヶ丘自治区会	書記	
9	木崎 奈央子	星ヶ丘市民センター	館長	
10	千々和 俊一	星ヶ丘校区社会福祉協議会	副会長	策定副委員長
11	花井 英敏	星ヶ丘校区社会福祉協議会 星ヶ丘自治区会	副会長 会長	
12	八木 敦巳	星ヶ丘校区社会福祉協議会 星ヶ丘地区民生委員児童委員協議会	事務局 民生委員	
13	香月 眞智子	星ヶ丘校区社会福祉協議会	事務局	
14	柏田 亜由美	星ヶ丘校区社会福祉協議会 星ヶ丘地区民生委員児童委員協議会	福祉協力員 民生委員	
15	奥村 藤代	星ヶ丘校区社会福祉協議会	福祉協力員	
16	香月 陽子	星ヶ丘校区社会福祉協議会 星ヶ丘市民センター	福祉協力員 職員	

2 星ヶ丘校区小地域福祉活動計画策定委員会での協議事項

回	開催日	主な協議事項
1	R4年9月3日(土)	・小地域福祉活動計画とは ・計画策定について意見交換
2	R4年9月17日(土)	・星ヶ丘校区の現状把握
3	R4年11月5日(土)	・課題に対応できる既存事業、資源の洗い出し ・重点実施項目の選定
4	R5年1月14日(土)	・体系図の作成(今後5年間の活動整理) ・基本理念の設定
5	R5年2月25日(土)	・体系図の確認・重点実施項目の単年度計画の作成 ・計画書及び概要版の部数等についての確認
6	R5年3月11日(土)	・計画書及び概要版の構成、編集



社会福祉協議会のイメージキャラクター

プチボザウルス Petit vo saurus



Petit (プチ：ちっちゃな)

Volunteer (ボランティア)

Saurus (サウルス≒恐竜)



お問合せ 星ヶ丘校区社会福祉協議会

〒807-1265 北九州市八幡西区大字笹田 920-8 星ヶ丘市民センター内
TEL 093-617-5273 FAX 093-617-5274

八幡西区社会福祉協議会

〒806-8510 北九州市八幡西区黒崎 3-15-3 コムシティ 6階
TEL 093-642-5035 FAX 093-642-5077

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1-6 ウェルとばた内
(代表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579
(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351

